

仕様書

スタートアップ支援部

1. 件名

大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業 【2】実証事業

2. 目的

本事業では、我が国における、大企業等※によるスタートアップ調達・購買※の加速化と持続的な連携※の促進や両者を含むエコシステムの活性化に向けて、大企業等の課題や、より潜在的・本質的なニーズを深掘り、事業テーマとして整理を行い、その事業テーマと合ったスタートアップの探索、スタートアップとの交渉、調整、さらに大企業等の意思決定等の各プロセスについて、受託者による試行錯誤を含めたマッチングプログラムを実証することを目的として、実施します。

なお、本事業では、経済産業省所管の鉱工業技術（例えば、ロボティクス、AI、エレクトロニクス、IoT、クリーンテクノロジー、素材、医療機器、ライフサイエンス、バイオテクノロジー技術、航空宇宙等。ただし、医薬・創薬、原子力技術に係るものは除く。）の開発及び実用化に取り組むいわゆるディープテック・スタートアップ調達・購買を対象とします。

※公募要領参照のこと

3. 内容

本事業では、下記の実施項目AからEを実施してください。

また、主たる提案者の専門性等を最大限生かし、相補的かつ発展的な説明ができる場合は、他のベンチャー・キャピタル（以下、VCとする）、アクセラレーター、スタートアップスタジオ、ベンチャービルダー等の事業を営む者を、外注、再委託等により協力体制を構築して提案することもできます。

実施内容は、試行的な取組も含めて、提案者が最適かつ効果的に業務目的を達成できるように、バランスよく企画検討された計画を提案してください。

なお、実施内容については、NEDO担当者等との協議の上で決定することとします。

実施項目A 提案者の情報整理

提案者が過去に手掛けた大企業等によるスタートアップ調達の調整・支援等に係る実績を体系的にわかりやすく整理してください。その際、これまでの経験を踏まえて、特にディープテック領域におけるスタートアップ調達・購買を、より有効かつ効率的に運営していくための工夫と、成果を最大化するための取り組みを対応表形式で整理してください。

実施項目B プログラムの企画・構築

スタートアップ調達・購買に関心があり、実施・促進を検討している段階の大企業等が実働に至るまでの伴走支援を「プログラム」（以下、プログラムとする）として企画・構築してください。プログラムは、以下の要件を満たすことができるような工夫や試行錯誤等が提案書において確認できるように体系的に整理して記載してください。

- ・プログラムを導入する大企業等との関係（事業者の協力体制、組織的なサポート体制、VC等外部機関との連携等）が良好に構築できるもの
- ・プログラム導入先の大企業等の経営幹部を含む決定権を有する部署等が参加し、主体的な協力を得られるもの
- ・プログラム導入先の大企業等が取り組むべき事項（自社が有するリソース情報・配分、自社の現況の把握・整理、自社の経営・事業戦略を踏まえたあるべき状態・狙いたいマーケットの明確化等）を整理・整備するもの
- ・プログラムを通して、スタートアップ調達・購買を経て、大企業等の既存事業・新事業の収益性等の向上に至るシナリオが描くことができるもの

なお、提案に際しては、プログラムを導入する大企業等の数及び、当該プログラムを経て策定される事業テーマの数、その他提案者が実施しようとするプログラムに適合した任意のアクティビティをKPIとして掲げ、その実現のための道筋について説明してください。本事業趣旨を鑑みて、KPI値の高低を問うものではありませんが、複数の大企業等にプログラムを導入するものとし、事業期間中に行うマッチングを10件以上として下さい。プログラムを導入する大企業等がすでに確定している場合でも、プログラムを導入する大企業等が未確定でありその探索も含めた活動を活動計画に含んでいる場合でも、いずれも応募可能です（審査基準参照のこと）。ただし、事業テーマの数については、提案時点でプログラムを導入する大企業等の事業テーマが既に確定している場合は、KPIに含めることはできません（本事業期間中に、実施項目Cでプログラムを実施していただくことは可能です）。

実施項目C プログラムの実施・検証

実施項目Bで企画・構築したプログラムを、実施・検証してください。

本事業期間中に以下の内容の実施を通して、試行錯誤の結果や成果が常に検証できるように計画し、それが、提案書において確認できるように体系的に整理して記載してください。

また、事業終了後の大企業等の自走を見据えて、大企業等が自律的に実施できる手法の提案を期待すると共に、その提案の効果等と併せて記載してください。

- ・大企業等の経営・事業戦略上の課題や、より潜在的・本質的なニーズの特定・深掘りを行い、事業テーマとして策定すること。必要に応じて、大企業内の複数部署を横断的に調整すること。
- ・事業テーマの策定の際は、周辺・関連分野における最新動向の調査、有識者へのヒアリング等を実施するなどの創意工夫をすること。
- ・事業テーマ策定後、事業テーマに対する解決策を提案できるスタートアップをマッチングさせること。
- ・マッチングについては、既存のネットワーク等の活用や新規募集、マッチング方法などは問いません。また、「【1】調査事業」のイベントや、政府機関等のホームページや広報媒体を活用することも可能です。
- ・マッチングを経て、別途企画調整中の補助事業への提案を見据えて、大企業等と調達・購買につながるスタートアップとのペアリングを作ること。

なお、提案に際しては、事業テーマに対してマッチングするスタートアップの数、その他提案者が実施しようとするプログラムに適合した任意のアクティビティをKPIとして掲げ、その実現のための道筋

について説明してください。ただし、提案時点で、事業テーマに対するスタートアップとのマッチングが進んでいる場合は、KPIに含めることはできません（本事業期間中に、マッチングを進めペアリングを作っていただくことは可能です）。また、ペアリングから実際の調達・購買に進めていただくことも期待します（審査基準参照のこと）。

実施項目D 伴走支援者としての取組

当該プログラムの企画・構築、実施・検証する提案者の持続的な取組を検証するために、プログラム企画・構築、実施・検証に必要なリソース（人員・体制・メンタリング、設備・機器・活動拠点等）や、工夫（顧客ヒアリング・サイトビジット先の提供、活動資金の提供、事業テーマ策定に向けた調整、各種審査等の判断のタイミングや基準等）を提案してください。また、本事業を通してこれらの取組の実施状況や成果に対して、報告書等において十分に自己分析・評価した上で、自律的な伴走支援のあり方をとりまとめてください。

実施項目E 報告・協力

上記事業を推進するにあたり、NEDOのとりまとめ等諸業務に対して、「【1】調査事業」に積極的に協力する実施体制等を想定して提案してください。

4. 実施期間

NEDO が指定する日から2026年3月31日まで

5. 報告書

本事業で実施した内容を報告書（和文）の形に取りまとめていただくと共に、概要（主な取組等）についてはパワーポイント形式で別途取りまとめ、データ等については NEDO が別途指定するフォーマット等で整理をしてください。また、調査結果のエビデンスを示す参考資料も別途提出してください。なお、本業務において収集した各種情報・データ等は全て NEDO に帰属するものとし、本業務の終了以降も、本事業や後継事業、併せて関連事業において活用する予定です。

（1）中間報告書

提出期限：2025年9月16日（火）

提出方法：提出時点における本業務の中途結果を、最終報告書の内容を見据えた形式で取りまとめ、中間報告書（ワード形式およびパワーポイント形式）として、電子メールにより、当機構担当者まで提出してください。なお、中間報告書の内容等については、事業開始後に NEDO とも相談の上作成して下さい。

（2）最終報告書

提出期限：2026年3月31日（火）

（契約期間を延長した場合は NEDO の指示に従うこと）

提出方法：本業務の結果を最終報告書として取りまとめてください。概要（主な取組等）についてはパワーポイント形式で別途取りまとめ、その他資料等も併せて提出してください。なお、別途 NEDO ホームページ上で公開するため、指定のフォーマットに従い成果報告書も作成し、当機構担当者まで提出してください。

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

6. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。委託期間終了後に本事業における成果の報告会を NEDO と調整の上で開催してください。

7. その他

本仕様書に定める事項については、随時 NEDO と調整の上実施してください。また、関連する NEDO 事業等との連携・活用等を視野に入れた上で、本仕様書に定めなき事項については、NEDO と実施者が協議の上で決定することとします。